

# 大阪YMCA大会2014



## 新しくなるYMCA 社会に希望と変革を

— 日本YMCA同盟中期計画を通して —



総主事  
すえおか よしひろ  
末岡 祥弘

2015年、皆様新たな気持ちで新年をお迎えになったことと思います。

昨年は想像もつかなかった自然災害が頻発し、経済格差、平和などの地球規模の課題も数多く顕著になりました。「大阪YMCA VISION2020」に書かれている「根源的変化の中に私たちの世界は突入し、その解決策が見つからず混迷を深めている」状況が進んでいます。1844年にYMCAがロンドンに誕生した時の産業革命以上の変化が進行しているのかもしれませんが。

YMCAは、この中でこそ、その使命、役割をますます明確に強くしなくてはなりません。全国のYMCAは、今これらの課題に応えようと、日本YMCA同盟中期計画(2014-2016)をスタートさせ「YMCAブランドの再生」をテーマに、オールジャパンYMCAとしての革新を次のように呼びかけています。

「日本YMCAはこれまで繰り返し中期計画を策定し、先達の叡智と努力でYMCA運動・事業を牽引し、成果を生み出してきました。そして今、「新しい時代に対応したYMCAのありようとは」「いま果たすべき社会的使命とは」それを「次世代に引き継ぐためになすべきことは何か」という問いに答えていかなければなりません。

YMCAは地域に拠点を構え、会員・ユースボランティア・スタッフをはじめとする多くの人々が集い協力し、国際的・地域的な繋がり、ネットワークの中で多様なプログラムを展開しています。まさにこの世界の中においてキリスト教の言う「神の国」を物語る類稀なる国際的な青少年育成・社会教育団体です。これこそがYMCAの宝(ブランド)なのです。しかし残念ながら、この宝が埋もれ見えなくなっていると言わざるをえません。この宝を再生させるために中期計画の遂行を通して、私たちが持っている宝(ブランド)とその意義(ミッション)をもう一度捉え直し、それを社会の人々に共感できるものとして表現すること(ブランディング)が求められています。土の器のようなYMCAの中に宝が納められていることを意識し、

YMCAのブランドを再生する時、社会に希望と変革をもたらすのではないのでしょうか。世界のYMCAでは、「眠れる獅子を起こす Waking up the Sleeping Giant」をスローガンに、ユースを主体とした次世代のYMCA運動と、その先にある世界平和の構築のためにYMCAを目覚めさせようとしています。いまこそ、自らの内に持っているそれぞれの多くの宝を、キリストの体なるYMCA運動として意識し、輝きを取り戻すこと。日本のYMCA運動が新しくされる道はそこにあります。」

このように全国のYMCAは一つになり、力を結集してYMCA運動を進めようとしています。

YMCAは、時代時代の中で常に「新しい人」を社会に送り出してきました。それは、人が小さくされる時代に抗して、人が大事にされる有りよう、生き方を提示し、そのことに幻(VISION)を持ち、主に望みをおく人を育ててきた歴史です。

### 「若者は幻を見、老人は夢を見る」(使徒言行録 2-17)

新たな年、大阪YMCAは世界の、全国のYMCAとともに中期計画を進める中で「夢と幻(VISION)を持つ新しい人」を育てる業をいっそう力強く進めてまいりたいと思います。



・新年メッセージ	1P
・大阪YMCA大会2014報告	2P・3P
・大阪YMCA大会2014報告	
・早天祈禱会 ・食育コラム ・会員	4P

### 大阪YMCAの使命

- 大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。
- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人のびと力を合わせ、環境、人権、貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

発行：末岡祥弘 編集：大阪YMCA広報室  
〒550-0001 大阪市西区上瓦町1-5-6  
TEL 06-6441-0894 FAX 06-6441-0297  
大阪YMCAのホームページでその他の情報をご覧ください。  
URL: <http://www.osakaymca.or.jp/>



# YMCA 大阪YMCA大会2014

11月29日(土)、大阪YMCA大会2014が開催されました。会員の方やユースリーダーOB/OG、ボランティア、教職員など約300名の参加者があり、大変活気のある大会となりました。当日の様子をご報告させていただきます。

## 第1部

### オープニング・会員表彰・奨学金授与

第1部は、日韓合同コーラスによる合唱で幕を開けました。谷川俊一大会実行委員長による開会祈祷に続き、世代表彰や特別感謝表彰など今年度より新しく設けられた表彰を含む会員表彰、国際奨学金授与が行われました。(敬称略)



#### 「奉仕の書」受賞者

・大村 肇 ・児玉 祐一

#### 51年以上継続会員

・井上 都志弘 ・坂本 松男 ・中村 勝吾  
 ・今村 一之 ・鈴木 璋三 ・野村 忠彦  
 ・岩坂 正雄 ・滝口 敏行 ・灰谷 隅夫  
 ・宇野 義男 ・田中 義宣 ・橋本 憲之  
 ・瓜生 菊雄 ・津野 忠昭 ・増成 恒哉  
 ・岡本 昇 ・寺川 克 ・文字 文男  
 ・後藤 清 ・富田 泰子 ・米澤 保男  
 ・酒井 哲雄 ・中川 善博 ・若木 正実  
 ・坂口 治男 ・中芝 永次

#### 10年継続会員

・一ノ瀬 侑子 ・下村 崇史 ・林 純三  
 ・大石 和秀 ・勢井 智子 ・深田 亮  
 ・岡野 泰和 ・田中 和也 ・福中 善久  
 ・粕谷 和彦 ・田宮 芳光 ・古田 敏洋  
 ・片山 聡子 ・中谷 哲造 ・前田 貴史  
 ・岸下 幸美 ・並木 聡子 ・待井 瑞季  
 ・河戸 宏往 ・難波 久美子 ・水川 雄太  
 ・坂本 安世 ・野上 侑子 ・吉川 佐和子  
 ・笹倉 圭司 ・野口 賢太郎 ・和田 樂理

#### 25年継続会員

・魚住 秀雄 ・富賀 理恵 ・樋上 恵一  
 ・遠藤 徹郎 ・中井 則子 ・松田 安紀子  
 ・砂子 正人 ・西川 勝久

#### 50年継続会員

・惠美奈 博光 ・藤井 英世  
 ・佐川 隆二 ・眞嶋 克成

#### 世代表彰 受賞者

・坂本 松男 { 福島 文子 { 牧口 望 { 山口 肇  
 ・坂本 哲朗 { 鍛冶田 雅弘 { 牧口 光 { 山口 守雄  
 { 鍛冶田 千文



#### 特別感謝表彰 受賞者

##### 早天祈祷会 世話人会

・川岸 清 ・日野 多栄子 ・松下 広子  
 ・新本 英二 ・牧口 望 ・文字 文男  
 ・杉浦 眞喜子 ・眞嶋 克成 ・保田 圭子  
 ・中芝 永次 ・松浦 孝次 ・和田 早苗  
 ・灰谷 隅夫

##### HHキャンプ リーダー会

・勝矢 千晶 ・桜木 貴博 ・西村 智恵  
 ・小山 真利子 ・高土 雄輔 ・水澤 学

##### 北摂YMCAこそだて相談室 相談員

・鳥山 すゞ代

##### サンホーム 喫茶ボランティア

・大西 伊豆代

##### 夕礼拝ボランティア

・ト田 啓三 ・和田 早苗

##### 特別献金感謝

・横田 憲子 ・吉岡 憲爾

## 基調講演

日本YMCA同盟中期計画推進委員会副委員長である中道基夫さんによるスピーチでは、現在の日本YMCA全体がもつ大きな力を会員数や拠点数という具体的な数字でわかりやすく示された後、昔に比べて力を失っているYMCAのブランド力を再生するために、「オールジャパンYMCAの革新」に取り組まなくてはならないことを力強く説明されました。

同時に、私たちが日々行っているYMCAの活動がどのようにキリスト教と繋がっているのかといった「現代に問うCの意味」や、「YMCAにとっての宝は何ですか?」という問いを投げかけられたことで、自分たち自身のYMCAを見つめ直す機会となりました。

また、大阪YMCA100年史の記録から、大阪YMCAがこれまでも全国YMCA協力体制の強化のために貢献してきたことを引用されながら、YMCAの革新における大阪YMCAの役割を強調し、また期待されているという言葉に、喜びを覚えつつ身の引き締まる思いでした。



## グローバルチャリティーコンサート

大阪YMCA大会前の午後1時から2階ホールにて、グローバルチャリティーコンサートが開催されました。北摂YMCAで活躍するコールアゼリアの皆さんが、お馴染みのメロディーの讃美歌等で華やかにオープニングを飾りました。続いて、はるばる韓国から出演された仁川YMCA女声合唱団は、定評ある実力派のグループらしく韓国の代表民謡「アリラン」のメドレーなど、美しいハーモニーの中に躍動感を表現して会場の喝采を浴びました。南YMCAを拠点とされる「もみの木」の皆さんは、「砂山」をアカペラで披露され、その後仁川YMCAと合同で讃美歌を歌い上げました。アンコールでは日本の「ふるさと」を会場の皆さんと共に歌い、名残惜しく幕を閉じました。短い時間でしたが、日韓YMCAの暖かい交流にもなったコンサートでした。



## 第2部

### 世界につながる大阪YMCA

①世界YMCA大会報告 ②地球市民育成プロジェクト中間報告 ③グローバルラーニングセンター報告の3つのプレゼンテーションが行われました。

世界YMCA同盟では「チェンジエージェント」、日本YMCA同盟では「地球市民(Global Citizen)」、大阪YMCAでは「チェンジメーカー」と呼び名こそ異なりますが、目指している方向は同じであると改めて確認できる場となりました。同じ方向を目指しているのに呼び方が異なるのはなぜか、との会場からのご質問に、ブランディングの観点からも呼び名は統一したほうが良いのではという提案がありました。



### YMCAと教育

現在、学校教育の現場で活躍されている大阪YMCAユースリーダーOB/OGによるディスカッションを行いました。

ユースリーダーには教員志望の大学生が数多く在籍していることもあり、テーマは①YMCAでのユースリーダーとしての経験が、どのように学校教育の現場で活かされているか? ②これから求められる教員像は? ③今の学校教育の現場での課題は? ④その課題解決のためにYMCAができることは?について、それぞれの経験を踏まえディスカッションしていただきました。ユースリーダー時代の失敗談や学校現場での悩みなども飛び交い、時間があっという間に過ぎました。多くのユースリーダーが教育現場で働く先輩の話に耳を傾け、世代を超えて、現役とOB/OGの繋がりが深まりました。また、ユースリーダーOB/OGが学校教育の現場に多くいらっしやることを再認識でき、「YMCAと教育」の繋がりが今後より大きなものとなることを期待されます。



### グローバルユースフォーラム

チェンジメーカーの育成を目的として日本の若者を海外へ派遣するプロジェクト「チャレンジ130」の一環で、実際に海外へ行った2組の大学生による発表がありました。

1組目は、大阪大学学生国際問題研究会SWADOMの学生によるインドスタディーツアー報告。インドYMCA同盟の訓練生とのグループディスカッションで自己主張の強いインド人に圧巻されたことや、インドは様々な階層・宗教・地域性で、多様な価値観に満ち溢れている点などの気づきがあったとのことでした。

2組目は、ミャンマーワークキャンプ報告。昨年度参加者の3人が、ロンジー(民族衣装)とタナカ(日焼け止め)を塗って登場。ミャンマーの教育現場や環境の課題とその解決に向けて、情報発信や寄付・寄贈だけでなく、中長期的な目標として留学生受入など、私たちにできることを具体的に語ってくれました。

東ティモールコーヒープロジェクトを進める学生YMCA i-COZYからは、参加者にコーヒーが振る舞われ、他にも、本で寄付するブックチャレンジやオリジナルTシャツの紹介といった、今すぐできる課題解決に向けてのアクションの紹介もありました。



### チャリティーラン

今年度実行委員長による大会の趣旨説明に始まり、大会を支えている企業やボランティアの紹介の後、実際に支援金によって大阪YMCAが実施しているプログラムの参加者・指導者の声を届けました。

障がいのある子どもたちとの「HH国際キャンプ」、「どんぐりキャンプ」、「チャリティーボウリング」などに参加したメンバーより、自分の中で変化したことや見つけた将来の夢など、人生のターニングポイントとなったことを語っていただきました。

2015年2月1日のチャリティーランでお会いできることを楽しみにしています!!



### UNI-Y報告

「解説:UNI-Yとは?」、「グローバルフェスタ報告」、「YMCAとつながるキャンパスムーブメント」の3部構成で行いました。

1部は、UNI-Yの発足に至った経緯や活動内容等の説明を中心としたUNI-Y解説。2部は、7月に六甲山YMCAで開催されたグローバルフェスタに実行委員として関わったUNI-Yメンバーによる学びや気づきの報告。3部は、YMCAの協力を通じてインドスタディーツアーを実現させた大阪大学の学生を交えたパネルディスカッション。今を生きるユースと共にYMCAの歴史を振り返り、その上に重ねた足跡を覚え、未来への希望を語るという一連のプログラムを通して、改めてUNI-Yの存在意義を確認することができました。





## 大阪YMCA大会報告

### ブース展示

さまざまなYMCAボランティア、事業・プログラムを紹介するブース出展があり、活動への理解と参加を呼びかけました。

#### ①国際ワイズメンズクラブ紹介(パネル)

震災復興支援の取り組みを中心に、YMCA支援、地域社会奉仕、学びと啓発活動、芸術鑑賞(音楽)、会員交流活動等、各種の取り組みが紹介されました。

#### ②学生YMCA i-COSYによるフェアトレード活動紹介

"世界から貧困をなくすチャレンジ"の活動として東ティモールのフェアトレードコーヒーを提供しながら、ほっとした楽しい雰囲気、で平和のための活動をアピールしました。



#### ③被災地支援キャンプ紹介

表現・コミュニケーション学科のスタッフが中心となって、この4年間に実施してきた被災地の発達障がい児とその家族のキャンプについて展示発表がされました。

#### ④いきいきルーム(血管年齢測定、骨密度測定)

#### ⑤大阪YMCAの高校紹介

#### ⑥YMCAたかつき あま保育園竣工式スライド上映

#### ⑦日本YMCA大会紹介

11月22~24日に日本YMCA同盟東山荘で開催された大会の様子がUstreamで上映され、その趣旨や内容を展示しました。

### 留学生ブース

留学生ブースでは、土佐堀・上町両校の日本語を学んでいる学生が、自分たちの国と地域(台湾・韓国・ベトナム・中国)を紹介したり、チューター活動や「つながる・広がる・交流プラザ」の活動を紹介しました。



## 食育コラム

Vol.37

### みんなで楽しい食卓を♪

YMCAとさぼり保育園 スタッフ やまなか じゅんこ 山中 淳子

新年明けましておめでとうございます。

お正月は家族や親戚など大勢で食卓を囲む機会が多かったのではないのでしょうか?大勢での食事は楽しくて、普段は少食な子どもがもりもり食べていた!なんて光景はありませんでしたか?

お正月休みも終わり、日常の生活が戻ってきました。親の仕事や子どもの習い事等で家族そろって食卓を囲む機会が減ってきている現在ですが、1日1回、1週間に1回は家族みんなで食卓を囲む時を持ちたいですね。

YMCAとさぼり保育園では、乳児期は同年齢でテーブルを囲み食事をしています。苦手な食べ物を前にして困っているお友達がいると「おいしいよ!」と、優しい声をかけてくれる姿を目にすることがあります。頑なに「これ、きれい!!」「食べない!!」と言っていた子も、お友達からの声かけは大人からの言葉よりも胸に響くようで、一口食べてみようかなと心が動くこともあります。また、3歳児からはランチルームで子どもたちと保育士と一緒に食事をします。これまでの同年齢の繋がりから、異年齢の繋がりへと拡がりを見せます。そして、年上の子どもたちや保育士の食べ方を見本として食べることもでき、毎日とてもにぎやかで楽しい食事時間となっています。「同じものを一緒に食べる」ということは、言葉にはできない安心感を得ることが出来ます。

同じものを食べ、同じ時をもつ。それだけで家族が、みんなが一つになれるのですね。

「これおいしいなあ」「これ最後に食べるねん」「これはきれい…」「おかわりください!!」今日もランチルームでは様々な声や笑顔が飛び交っています。



## 大阪YMCA早天祈祷会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAの様々な場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

■第261回 日 時…2015年1月16日(金)7:30~8:30

奨 励…おおにし おさむ大西 修さん(日本聖公会大阪教区 主教)

■第262回 日 時…2015年2月20日(金)7:30~8:30

証 し…たなか よしのぶ田中 義信さん(元大阪YMCA職員、大阪女学院 教育研究センター 客員研究員)

場 所…大阪YMCA会館 10階 チャペル

問合せ…大阪YMCA 本部事務局 総務

TEL:06(6441)0894 E-mail:info@osakaymca.org

■会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2014年11月度報告

#### 【新規会員】

・城戸 亮史 ・児玉 桜 ・瀬川 真以 ・西口 果歩 ・山口 雄大 ・山田 潔佳

#### 【継続会員】

・生地 義治 ・井之上 芳雄 ・切通 菜摘 ・新本 英二 ・澄川 菊代  
・田伏 葵 ・津田 唯 ・福中 善久